

ダイバーシティ（多様性）経営を目指し、女性が活躍する環境を整備

主な 取組内容

- 女性が、結婚・出産・育児で会社を辞めることなく、活躍できる環境を整備
- 「女性フォーラム」、「ダイバーシティフォーラム」等の開催により、社内の意識を改革
- 時間マネジメント意識を喚起することで時間外労働時間の削減を推進（月14.7時間→10.9時間）

2000年代初めから、「社員が離職することなく働き続けられる会社」を目指し、育児や介護支援、高齢者・障害者雇用促進など、様々な制度改革を行ってきた。

モノづくり企業であっても、女性がイキイキと活躍できる環境を作り上げるため、2004年から女性活躍推進プロジェクトを立ち上げ、制度改革に取り組んでいる。また、社員の意識改革のための「ダイバーシティフォーラム」の実施や、男性でも育児休業が取れるよう、育児・介護等の関連規定の整備や、職場への啓蒙活動を実施しており、実際に育児休業や短時間勤務

を取得する男性社員が増えている。

また、仕事の効率性向上とプライベートの充実を目指して、時間外労働時間の削減を推進している。管理職だけでなく、全社員が理解して活動を進めることで、2015年から3年間で約25%の時間外労働時間が削減され、月10.9時間となった。

社外に対しても、2015年に内閣府が主催した「夏の理工チャレンジ（リコチャレ）イベント（理工系分野に興味のある女子中高生・女子学生の進路選択応援事業）」を実施し、多くの社内女性技術者が、自身の仕事の魅力を学生に伝えている。



高田康平さん

働く人の声！

高田康平さん：上司は、当初かなり戸惑ったようでしたが、最終的には理解してくれました。家事を引き受け、子供と充実した時間を送っています。負担をかけた後輩には、1年後に育児休業を勧め取得してもらいました。

利用 制度

- 育児休業制度
- 短時間勤務制度（子供が2歳となった2017年11月現在も利用中）



総務人事部 澤田成志さん



GC統括室女性活躍推進担当 山本美穂さん

制度取組担当者の想い 総務人事部 澤田成志さん

！ 取組のきっかけ

男女ともに意識改革に取り組む必要があり、どうしたら男性中心の働き方から多様性を重視した働き方に変えていけるかを意識しました。

📊 取組の成果

社内のダイバーシティ推進と同時に進めている「時間外労働時間削減活動」の成果が現れ、仕事のやり方と私生活の質をさらに向上させたいと考える社員が増加していると感じています。

? 今後の展望

様々な制度が整備されていますので、今後は、職場によって制度の利用ができる、できないといったことが生じないように、事業所ごとの環境整備にも力を入れていきます。

いきいきGカンパニー 企業プロフィール



サンデンホールディングス 株式会社

1943年三共電機(株)として設立。自転車の発電ランプの生産を開始。その後冷凍冷蔵ショーケース、自動販売機を開発・販売。1970年代に入り自動販売機等の「冷やす・暖める」技術を応用し、カーエアコン用コンプレッサーの製造に着手。海外進出を目指す。現在23か国・地域、54拠点に生産工場や事業所を構えグローバルな事業展開を行う。

代表者 代表取締役社長 神田 金栄
住 所 群馬県伊勢崎市寿町20
TEL 0270-24-1211 FAX 0270-24-5338
URL <https://www.sanden.co.jp>
従業員数 男性2405人 女性354人
※事業会社7社を含む